

建築物省エネ法
省エネ基準に基づく省エネ計算
演習事例
計算結果 及び 添付資料

4

建て方	一戸建ての住宅
構造	木造枠組壁工法
外皮性能	標準計算ルート 〔 当該住戸の外皮面積を用いて 外皮性能を評価する方法 〕
一次エネルギー消費性能	エネルギー消費性能計算プログラム (住宅版) Ver 2.8.1

令和2年度 第1版
一般社団法人 住宅生産団体連合会
制作協力 / ハウスプラス住宅保証株式会社

外皮性能計算書

標準計算ルート

〔 当該住戸の外皮面積を用いて
外皮性能を評価する方法 〕

住宅の外皮平均熱貫流率及び平均日射熱取得率（冷房期・暖房期）計算書

- H28年省エネルギー基準に基づく（木造戸建て住宅） -

1) 基本情報の入力

住宅の名称	〇〇〇〇様邸新築工事		
住宅の所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇番〇号	(地域区分)	6地域
住宅の規模	地上 2 階	、地下 0 階	

2) 計算結果

外皮等面積の合計	312.24 m ²	冷房期の平均日射熱取得率(η_{AC})	2
外皮平均熱貫流率(U_A)	0.71 W/(m ² K)	暖房期の平均日射熱取得率(η_{AH})	1.6

3) 省エネルギー基準外皮性能適合可否結果

	計算結果	基準値	判定		
外皮平均熱貫流率	0.71 W/(m ² K)	0.87 W/(m ² K)	適合	●	等級4
冷房期の平均日射熱取得率	2	2.8	適合	○	等級3
				○	等級2

注1:本計算シートの計算方法は、(国研)建築研究所が示す外皮性能の計算方法を遵守しています。

注2:内訳計算シートAは、住宅の外壁の面する方位別のシートに入力してください。

注3:各シートの 黄色 部分に入力するか、あるいはドロップボックスから選択してください。

注4:各シートに入力する寸法は、メートル単位で入力して下さい。

注5:本計算シートでは計算式の誤削除を防止するため、シートを保護しています。

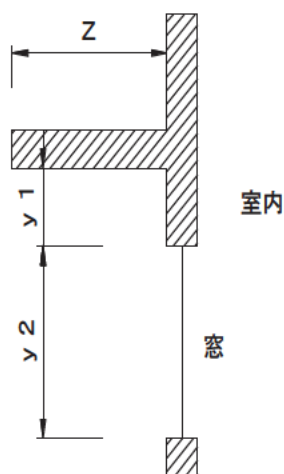
※1 建具の仕様、ガラスの仕様および付属部材の組み合わせに応じた日射熱取得率を直接入力して下さい。

内訳計算シートA <北東面> の外皮熱損失量と日射熱取得量

1) 窓の入力

1) 窓の入力						方位係数		0.431	0.325			
窓番号	寸法(m)		熱貫流率	日射熱取得率※1	付属部材の有無	取得日射量補正係数の算出				冷房期日射熱取得量	暖房期日射熱取得量	熱損失
	幅	高さ				デフォルト値使用	庇による補正計算					
							Z	y1	y2			
AW-2	1.1	0.9	2.75	0.32		☒				0.13	0.05	2.72
AW-3	0.74	0.7	2.75	0.32		☒				0.07	0.03	1.42
AW-5	0.74	0.9	2.75	0.32		☒				0.09	0.04	1.83
AW-7	0.36	0.9	2.75	0.32		☒				0.04	0.02	0.89
AW-7	0.36	0.9	2.75	0.32		☒				0.04	0.02	0.89
AW-8	0.6	0.9	2.75	0.32		☒				0.07	0.03	1.49
AW-8	0.6	0.9	2.75	0.32		☒				0.07	0.03	1.49
AW-8	0.6	0.9	2.75	0.32		☒				0.07	0.03	1.49
						☐						
						☐						
						☐						
						☐						
窓 <北東面> 各値合計										0.57	0.24	12.22

2) ドアの入力



ドア番号	寸法(m)		熱貫流率	付属部材の有無	冷房期日射熱取得量	暖房期日射熱取得量	熱損失
	幅	高さ					
ドア <北東面> 各値合計							

3) 外壁の入力

仕様番号	外壁面積	除外窓等面積	計算対象外壁面積	熱貫流率	日射の当たらない基礎等	冷房期日射熱取得量	暖房期日射熱取得量	熱損失
外壁	55.38533	4.442	50.94	0.54	☐	0.40	0.30	27.51
					☐			
					☐			
					☐			
					☐			
外壁 <北東面> 各値合計						0.40	0.30	27.51

4) 住宅 <北東面> 計算結果

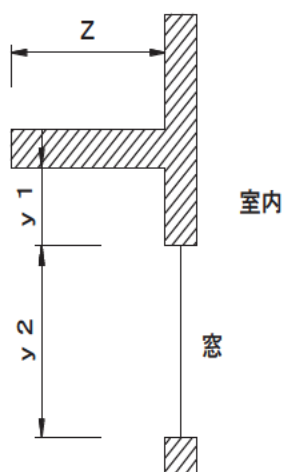
北東面	外皮等面積(内訳)	55.39 m ² (窓 4.442 m ² 、ドア m ² 、外壁 50.94333 m ²)
	冷房期総日射熱取得量	0.97
	暖房期総日射熱取得量	0.54
	総熱損失	39.72 W/K

内訳計算シートA <南東面> の外皮熱損失量と日射熱取得量

1) 窓の入力

1) 窓の入力						方位係数		0.498		0.833		
窓番号	寸法(m)		熱貫流率	日射熱取得率※1	付属部材の有無	取得日射量補正係数の算出				冷房期日射熱取得量	暖房期日射熱取得量	熱損失
	幅	高さ				デフォルト値使用	庇による補正計算					
							Z	y1	y2			
AW-9	0.6	1.1	2.75	0.32		☒				0.10	0.09	1.82
AD-6	0.74	1.8	2.75	0.32		☒				0.20	0.18	3.66
AW-9	0.6	1.1	2.75	0.32		☒				0.10	0.09	1.82
AW-10	1.65	1.1	2.75	0.32		☒				0.27	0.25	4.99
						☐						
						☐						
						☐						
						☐						
						☐						
						☐						
						☐						
						☐						
窓 <南東面> 各値合計										0.66	0.61	12.28

2) ドアの入力



ドア番号	寸法(m)		熱貫流率	付属部材の有無	冷房期日射熱取得量	暖房期日射熱取得量	熱損失
	幅	高さ					
ドア <南東面> 各値合計							

3) 外壁の入力

日除け寸法の取り

仕様番号	外壁面積	除外窓等面積	計算対象外壁面積	熱貫流率	日射の当たらない基礎等	冷房期日射熱取得量	暖房期日射熱取得量	熱損失
外壁	40.28024	4.467	35.81	0.54	☐	0.33	0.55	19.34
					☐			
					☐			
					☐			
					☐			
外壁 <南東面> 各値合計						0.33	0.55	19.34

4) 住宅 <南東面> 計算結果

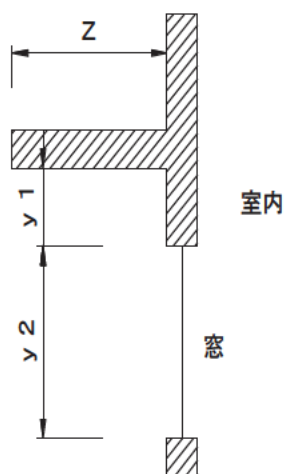
南東面	外皮等面積(内訳)	40.28 m ² (窓 4.467 m ² 、ドア m ² 、外壁 35.81324 m ²)
	冷房期総日射熱取得量	0.99
	暖房期総日射熱取得量	1.15
	総熱損失	31.62 W/K

内訳計算シートA <南西面> の外皮熱損失量と日射熱取得量

1) 窓の入力

1) 窓の入力							方位係数			0.491	0.763	
窓番号	寸法(m)		熱貫流率	日射熱 取得率 ※1	付属部 材 の有無	取得日射量補正係数の算出				冷房期 日射熱 取得量	暖房期 日射熱 取得量	熱損失
	幅	高さ				デフォルト 値使用	庇による補正計算					
							Z	y1	y2			
AD-2	1.65	2.2	2.75	0.32		☒				0.53	0.45	9.98
AD-3	1.6	2	2.75	0.32		☒				0.47	0.40	8.80
AD-4	1.65	2	2.75	0.32		☒				0.48	0.41	9.08
AW-4	1.6	1.1	2.75	0.32		☒				0.26	0.22	4.84
AW-4	1.6	1.1	2.75	0.32		☒				0.26	0.22	4.84
AD-1	1.65	1.8	2.75	0.32		☒				0.43	0.37	8.17
						☐						
						☐						
						☐						
						☐						
						☐						
						☐						
窓 <南西面> 各値合計										2.43	2.07	45.71

2) ドアの入力



ドア番号	寸法(m)		熱貫流率	付属部材の有無	冷房期日射熱取得量	暖房期日射熱取得量	熱損失
	幅	高さ					
ドア <南西面> 各値合計							

3) 外壁の入力

仕様番号	外壁面積	除外窓等面積	計算対象外壁面積	熱貫流率	日射の当たらない基礎等	冷房期日射熱取得量	暖房期日射熱取得量	熱損失
外壁	55.38533	16.62	38.77	0.54	☐	0.35	0.54	20.93
					☐			
					☐			
					☐			
					☐			
外壁 <南西面> 各値合計						0.35	0.54	20.93

4) 住宅 <南西面> 計算結果

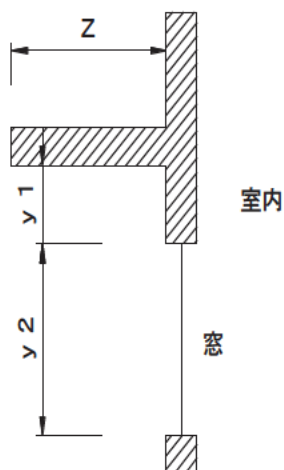
南西面	外皮等面積(内訳)	55.39 m ² (窓 16.62 m ² 、ドア m ² 、外壁 38.76533 m ²)
	冷房期総日射熱取得量	2.78
	暖房期総日射熱取得量	2.61
	総熱損失	66.64 W/K

内訳計算シートA <北西面> の外皮熱損失量と日射熱取得量

1) 窓の入力

1) 窓の入力							方位係数		0.427	0.317		
窓番号	寸法 (m)		熱貫流率	日射熱 取得率 ※1	付属部 材 の有無	取得日射量補正係数の算出			冷房期 日射熱 取得量	暖房期 日射熱 取得量	熱損失	
	幅	高さ				デフォルト 値使用	底による補正計算					
							Z	y1				y2
AW-6	1.65	1.3	2.75	0.32		☒				0.27	0.11	5.90
AW-1	0.36	0.3	2.75	0.32		☒				0.01	0.01	0.30
AW-1	0.36	0.3	2.75	0.32		☒				0.01	0.01	0.30
AW-9	0.6	1.1	2.75	0.32		☒				0.08	0.03	1.82
AW-9	0.6	1.1	2.75	0.32		☒				0.08	0.03	1.82
						☐						
						☐						
						☐						
						☐						
						☐						
						☐						
						☐						
						☐						
窓 <北西面> 各値合計									0.47	0.19	10.12	

2) ドアの入力



ドア番号	寸法(m)		熱貫流率	付属部材の有無	冷房期日射熱取得量	暖房期日射熱取得量	熱損失
	幅	高さ					
AD-7	1.12	2.27	3.49		0.13	0.10	8.87
ドア <北西面> 各値合計					0.13	0.10	8.87

3) 外壁の入力

仕様番号	外壁面積	除外窓等面積	計算対象外壁面積	熱貫流率	日射の当たらない基礎等	冷房期日射熱取得量	暖房期日射熱取得量	熱損失
外壁	40.28024	6.2234	34.06	0.54	☐	0.27	0.20	18.39
					☐			
					☐			
					☐			
					☐			
外壁 <北西面> 各値合計						0.27	0.20	18.39

4) 住宅 <北西面> 計算結果

北西面	外皮等面積(内訳)	40.28 m ² (窓 3.681 m ² 、ドア 2.5424 m ² 、外壁 34.05684 m ²)										
	冷房期総日射熱取得量	0.86										
	暖房期総日射熱取得量	0.48										
	総熱損失	37.39 W/K										

内訳計算シートB <屋根・天井・床等> の外皮熱損失量と日射熱取得量

1) 天窓等の入力

窓番号	寸法(m)		熱貫流率	日射熱取得率 ※1	付属部材の有無	冷房期 日射熱取得量	暖房期 日射熱取得量	熱損失
	幅	高さ						
窓 <屋根・天井> 各値合計								

2) 屋根・天井・外気等に接する床（以下「屋根等」という。）の入力

仕様番号	部位名称	屋根等面積	除外窓等面積	計算対象外壁面積	熱貫流率	冷房期 日射熱取得量	暖房期 日射熱取得量	熱損失
天井	天井	56.311		56.31	0.232	0.44	0.44	13.06
屋根	屋根	4.1405		4.14	0.258	0.04	0.04	1.07
床(一般部)	その他床	44.997		45.00	0.452	0.00	0.00	14.24
床(畳部)	その他床	9.937		9.94	0.414	0.00	0.00	2.88
床(UB)	その他床	3.312		3.31	1.5	0.00	0.00	3.48
外壁 <屋根・天井・床> 各値合計						0.48	0.48	34.73

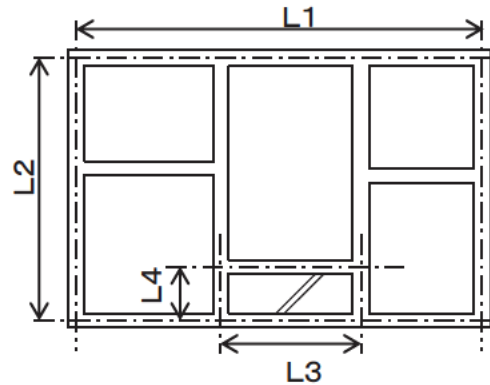
3) 住宅 <屋根・天井・床等> 計算結果

屋根等 他	外皮等面積(内訳)	118.70 m ² (天窓 m ² 、 屋根等 118.6975 m ²)
	冷房期総日射熱取得量	0.48
	暖房期総日射熱取得量	0.48
	総熱損失	34.73 W/K

内訳計算シートC <基礎等> の熱損失量（基礎断熱及び土間床等の部分）

1) 土間床等の面積の入力

部位番号	部位名	面積
玄関(外気側)	玄関土間	2.208206
玄関(室内側)	玄関土間	
土間床等面積合計		2.21



1)土間床等面積の算出

基礎断熱の場合

$$L1 \times L2$$

土間床部分の場合

$$L3 \times L4$$

を求め入力する。

3)基礎外周長さLの算出

基礎断熱の場合

$$(L1 + L2) \times 2 = L$$

土間床部分の場合

$$L3 + L4 \times 2 = L$$

・温度差係数0.7の部分

$$L3 + L4 \times 2 = L$$

・温度差係数1.0の部分

$$L3 = L$$

として入力する。

※3)において温度差係数を分けて計算する場合、

上表は分けて入力して下さい。その際、面積は重複しないように片方のみを入力して下さい。

2) 基礎等の断面仕様の入力

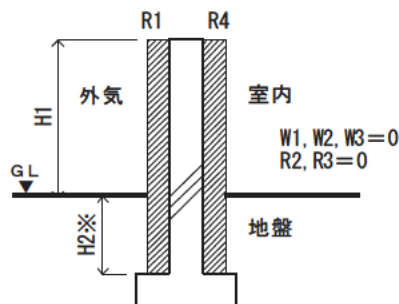
部位番号	部位名	断熱材 熱抵抗 R1	断熱材 熱抵抗 R2	断熱材 熱抵抗 R3	断熱材 熱抵抗 R4	基礎高 H1	底盤高 H2	断熱材 根入れ W1	断熱材 折返し W2	断熱材 折返し W3	適用 計算式 番号	熱貫流率
玄関(外気側)	玄関土間					0.4	0.05				(11)	1.80
玄関(室内側)	玄関土間					0.4	0.05				(11)	1.80

注1:上記各部の寸法は下図の寸法等(長さm、熱抵抗m²K/W)を入力して下さい。

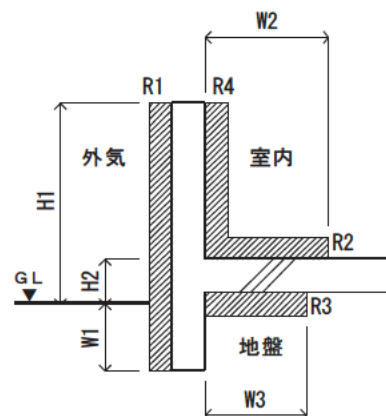
注2:H1の寸法(基礎高さ)は0.4mを上限とし、0.4mを超える部分は内訳計算シートAで計算して下さい。

3) 基礎等の外周長さの入力

部位番号	部位名	基礎等 外周長さ L	温度差 係数	熱損失
玄関(外気側)	玄関土間	3.0333	1.0	5.46
玄関(室内側)	玄関土間	3.0333	0.7	3.82
基礎等熱損失合計				9.28



※H2はマイナとして入力する。



部位U値計算シート <部位> の熱貫流率【木造用】

1) 簡略計算法①（面積比率法）による部位熱貫流率-1

(天井) の実質熱貫流率 W/ (㎡K)				
仕様番号	部 分 名		一般部	熱橋部
	熱橋面積比		1.000	0.000
熱橋なし	熱伝導率λ W/(m・K)	厚さd m	d/λ ㎡・K/W	
熱伝達抵抗 Rsi	—	—	0.090	0.000
せっこうボード (GB-R)	0.221	0.010	0.043	0.000
グラスウール断熱材 高性能品 HG16-38	0.038	0.155	4.079	0.000
熱伝達抵抗 Rse	—	—	0.090	0.000
熱貫流抵抗 ΣR=Σ (di/λi)			4.302	0.000
熱貫流率 Un=1/ΣR			0.232	0.000
平均熱貫流率 Ui=Σ (ain・Un)			0.232	

層構成に応じ、計算値を使用するか「0」を入力してください。

2) 簡略計算法②（熱貫流率補正法）による部位熱貫流率-1

() の熱貫流率 W/ (㎡K)			
仕様番号	熱伝導率λ W/(m・K)	厚さd m	d/λ ㎡・K/W
熱貫流抵抗	ΣR=Σ (di/λi)		0.000
熱貫流率	Un=1/ΣR		0.000
熱貫流率	Ui=Un+		0.000

部位U値計算シート <部位> の熱貫流率【木造用】

1) 簡略計算法①（面積比率法）による部位熱貫流率-2

(屋根) の実質熱貫流率 W/ (㎡K)				
仕様番号	部 分 名		一般部	熱橋部
	熱橋面積比		0.860	0.140
垂木間断熱	熱伝導率λ W/(m・K)	厚さd m	d/λ ㎡・K/W	
熱伝達抵抗 Rsi	—	—	0.090	0.090
グラスウール断熱材 高性能品 HG16-38	0.038	0.180	4.737	0.000
天然木材	0.120	0.180	0.000	1.500
熱伝達抵抗 Rse	—	—	0.090	0.090
熱貫流抵抗 ΣR=Σ (d i /λ i)			4.917	1.680
熱貫流率 U n=1 /Σ R			0.203	0.595
平均熱貫流率 U i=Σ (a in・U n)			0.258	

☐ 層構成に応じ、計算値を使用するか「0」を入力してください。

2) 簡略計算法②（熱貫流率補正法）による部位熱貫流率-2

() の熱貫流率 W/ (㎡K)			
仕様番号	熱伝導率λ W/(m・K)	厚さd m	d/λ ㎡・K/W
熱貫流抵抗	ΣR=Σ (d i /λ i)		0.000
熱貫流率	U _n =1/ΣR		0.000
熱貫流率	U _i =U _n +		0.000

部位U値計算シート <部位> の熱貫流率【木造用】

1) 簡略計算法①（面積比率法）による部位熱貫流率-3

(壁) の実質熱貫流率 W/ (㎡K)				
仕様番号	部 分 名		一般部	熱橋部
	熱橋面積比		0.770	0.230
	熱伝導率λ W/(m・K)	厚さd m	d/λ ㎡・K/W	
熱伝達抵抗 Rsi	—	—	0.110	0.110
グラスウール断熱材 高性能品 HG16-38	0.038	0.089	2.342	0.000
天然木材	0.120	0.089	0.000	0.742
熱伝達抵抗 Rse	—	—	0.110	0.110
熱貫流抵抗 ΣR=Σ (d i /λ i)			2.562	0.962
熱貫流率 U _n =1/ΣR			0.390	1.040
平均熱貫流率 U _i =Σ (a _i n・U _n)			0.540	

層構成に応じ、計算値を使用するか「0」を入力してください。

2) 簡略計算法②（熱貫流率補正法）による部位熱貫流率-3

() の熱貫流率 W/ (㎡K)			
仕様番号	熱伝導率λ W/(m・K)	厚さd m	d/λ ㎡・K/W
熱貫流抵抗	ΣR=Σ (d i /λ i)		0.000
熱貫流率	U _n =1/ΣR		0.000
熱貫流率	U _i =U _n +		0.000

部位U値計算シート <部位> の熱貫流率【木造用】

1) 簡略計算法①（面積比率法）による部位熱貫流率-4

(床 (一般部)) の実質熱貫流率 W/ (㎡K)				
仕様番号	部 分 名		一般部	熱橋部
	熱橋面積比		0.850	0.150
	熱伝導率λ W/(m・K)	厚さd m	d/λ ㎡・K/W	
熱伝達抵抗 Rsi	—	—	0.150	0.150
合板	0.160	0.024	0.150	0.150
グラスウール断熱材 高性能品 HG16-36	0.036	0.080	2.222	0.000
天然木材	0.120	0.080	0.000	0.667
熱伝達抵抗 Rse	—	—	0.150	0.150
熱貫流抵抗 ΣR=Σ (d i /λ i)			2.672	1.117
熱貫流率 U n =1 /Σ R			0.374	0.896
平均熱貫流率 U i =Σ (a in ・U n)			0.452	

☐ 層構成に応じ、計算値を使用するか「0」を入力してください。

2) 簡略計算法②（熱貫流率補正法）による部位熱貫流率-4

() の熱貫流率 W/ (㎡K)			
仕様番号	熱伝導率λ W/(m・K)	厚さd m	d/λ ㎡・K/W
熱貫流抵抗	ΣR=Σ (di/λi)		0.000
熱貫流率	Un=1/ΣR		0.000
熱貫流率	Ui=Un+		0.000

部位U値計算シート <部位> の熱貫流率【木造用】

1) 簡略計算法①（面積比率法）による部位熱貫流率-5

(床 (畳部)) の実質熱貫流率 W/ (㎡K)			
仕様番号	部 分 名	一般部	熱橋部
	熱橋面積比	0.850	0.150
	熱伝導率λ W/(m・K)	厚さd m	d/λ ㎡・K/W
熱伝達抵抗 Rsi	—	—	0.150
畳	0.083	0.015	0.181
合板	0.160	0.024	0.150
グラスウール断熱材 高性能品 HG16-36	0.036	0.080	2.222
天然木材	0.120	0.080	0.000
熱伝達抵抗 Rse	—	—	0.150
熱貫流抵抗 ΣR=Σ (d i /λ i)			2.853
熱貫流率 U n =1 /Σ R			0.351
平均熱貫流率 U i =Σ (a i n ・ U n)			0.414

層構成に応じ、計算値を使用するか「0」を入力してください。

2) 簡略計算法②（熱貫流率補正法）による部位熱貫流率-5

() の熱貫流率 W/ (㎡K)			
仕様番号	熱伝導率λ W/(m・K)	厚さd m	d/λ ㎡・K/W
熱貫流抵抗	Σ R=Σ (d i /λ i)		0.000
熱貫流率	U n =1 /Σ R		0.000
熱貫流率	U i =U n +		0.000

一次エネルギー消費量の計算

〔 エネルギー消費性能計算プログラム
（住宅版） Ver 2.8.1 〕

建築物エネルギー消費性能基準 [H28年4月以降]
一次エネルギー消費量計算結果(住宅)

1. 住宅タイプの設計 次エネルギー消費量等

(1)住宅タイプの名称(建て方)	〇〇〇〇様邸新築工事(戸建住宅)			
(2)床面積	主たる居室	その他の居室	非居室	計
	28.16㎡	47.20㎡	41.41㎡	116.77㎡
(3)地域の区分/年間の日射地域区分	6地域		A3区分(年間の日射量が中程度の地域)	
(4)一次エネルギー消費量(1戸当り)			設計一次エネルギー MJ]	基準一次エネルギー MJ]
	暖房設備		20023	14234
	冷房設備		5194	5224
	換気設備		4457	4416
	給湯設備		15923	24791
	照明設備		4925	10220
	その他の設備		21087	21087
	発電設備の発電量のうち自家消費分 *1		-16843	--
	コージェネレーション設備の売電量に係る控除量 *2		---	--
	合計		54766	79972
(5)判定	一次エネルギー消費量 GJ/(戸・年)]		54.8	80.0
	結果		達成	
(6)BEI	一次エネルギー消費量(その他除く) GJ/(戸・年)]		33.7	58.9
	BEI		0.58	

本計算結果は 当該住戸が建設される地域区分及び設計内容に 一定の生活スケジュールに基づく設備機器の運転条件等を想定し計算されたもので 実際の運用に伴うエネルギー消費量とは異なります。
(4)の各用途内訳を足した値と合計は四捨五入の関係で一致しないことがあります。(5)の値は小数点以下一位未満の端数を切り上げているため (4)の合計と一致しないことがあります。
* : 発電設備にはコージェネレーション設備および太陽光発電設備が含まれます。*2: コージェネレーション設備が売電した電力を発電するために要した一次エネルギー消費量相当量です。

2. 住宅タイプの仕様

(1) 暖冷房仕様

外皮／設備項目		外皮／設備の仕様
A. 外皮	評価方法	当該住戸の外皮面積の合計を用いて評価する
	総外皮面積	312.24 ㎡
	外皮平均熱貫流率	0.71 W/㎡K
	平均日射熱取得率	暖房期 η AH: 1.6 冷房期 η AC: 2
	通風の利用	主居室: 通風を利用しない その他の居室: 通風を利用しない
	蓄熱の利用	蓄熱を利用しない
	床下換気システムの利用	床下換気システムを利用しない
B. 暖房設備	運転方式	居室のみを暖房する
	設備仕様	【主たる居室】温水床暖房 敷設率: 49.6% 床の断熱: 91% 【その他の居室】ルムエアコンディショナ エネルギー消費効率の区分: 区分(は) 小能力時高効率型コンプレッサ : 搭載しない 【熱源機】電気ヒートポンプ温水暖房機(フロン系冷媒) 断熱配管: 採用する 配管が通過する空間: 全てもしくは一部が断熱区画外である

C. 冷房設備	運転方式	居室のみを冷房する
	設備仕様	【主たる居室】ル ムエアコンディショナ エネルギー 消費効率の区分: 区分(は) 小能力時高効率型コンプレッサ : 搭載しない 【その他の居室】ル ムエアコンディショナ エネルギー 消費効率の区分: 区分(は) 小能力時高効率型コンプレッサ : 搭載しない

(2) 換気仕様

設備項目	設備の仕様
D.換気	壁付け式第二種換気設備または壁付け式第三種換気設備 換気回数:0.5回/h
E.熱交換	熱交換型換気を設置しない

(3) 給湯仕様

設備項目		設備の仕様
F.給湯設備	給湯設備・浴室等の有無	給湯設備がある(浴室等がある)
	熱源機	電気ヒ トポンプ給湯機(CO2系冷媒)(JIS効率: 3.4) ふろ給湯機(追焚あり)
	配管	ヘッダ 方式(ヘッダ 分岐後のすべての配管径が13A以下)
	水栓	台所: 2バルブ水栓以外のその他の水栓(節湯方式を採用しない) 浴室シャワ : 2バルブ水栓以外のその他の水栓(手元止水) 洗面: 2バルブ水栓以外のその他の水栓(節湯方式を採用しない)
	浴槽	高断熱浴槽を採用しない

(4) 照明仕様

設備項目		設備の仕様
G.照明設備	主たる居室	すべての機器においてLEDを使用している 多灯分散照明方式の採用:採用しない 調光が可能な制御 :採用しない
	その他の居室	すべての機器においてLEDを使用している 調光が可能な制御:採用しない
	非居室	すべての機器においてLEDを使用している 人感センサ :採用しない



(5) 発電仕様

設備項目		設備の仕様
H.太陽光発電設備	パネル面数	2面
	その1	システム容量:2.3kW 種類:結晶シリコン系 設置方式:屋根置き形 パネル傾斜:30度 パネル方位:真南から東へ105度以上135度未満
	その2	システム容量:2.55kW 種類:結晶シリコン系 設置方式:屋根置き形 パネル傾斜:30度 パネル方位:真南から西へ45度以上75度未満
	その3	*****
	その4	*****
	パワコン	定格負荷効率:96.5%
I.コージェネレーションシステム		なし

(6) 太陽熱利用設備仕様

設備項目		設備の仕様
J.液体集熱式太陽熱利用給湯		採用しない
K.空気集熱式太陽熱利用設備	設備仕様	設置しない
	集熱器群の数・方位	*****
	集熱器群1	*****
	集熱器群2	*****
	集熱器群3	*****
	集熱器群4	*****

3. 参考値

(1) 設計二次エネルギー消費量等(参考値)

設計二次エネルギー消費量			コジェネレーション設備の 売電量に係るガス消費量 の控除量 MJ] *2	未処理負荷の 設計一次エネルギー消費量 相当値 MJ] *3
消費電力量 kWh] *1	ガス消費量 MJ]	灯油消費量 MJ]		
4983	3792	0	0	2339

* : 当該住戸で消費する電力量から 太陽光発電設備およびコージェネレーション設備による消費電力削減量(発電量のうち 当該住戸で消費される自家消費分)を差し引いた値を表記しています。

*2:コージェネレーション設備が売電した電力を発電するために要したガス消費量相当量です。

*3:未処理負荷とは 当該住戸に設置された暖冷房設備機器で処理できなかった負荷を指し 負荷を処理した暖冷房設備機器とは別の 何らかの暖冷房設備で処理したと仮定して 設計一次エネルギー消費量相当値に換算しています。

(2) 発電量・売電量(参考値) *1

発電量 MJ]		売電量 MJ]	
コジェネレーション	太陽光発電	コジェネレーション	太陽光発電
0	42618	0	25775

* :すべて一次エネルギーに換算した値

板硝子協会

窓等の大部分がガラスで構成される開口部
（一重構造の建具）の熱貫流率

(住宅) ガラスの仕様と枠の種類に応じた窓の熱貫流率・日射熱取得率

板硝子協会
2018.10

ガラスの仕様						窓の熱貫流率 [W/(m ² ・K)]			ガラス 中央部の 熱貫流率 [W/(m ² ・K)]	窓の日射熱取得率 []						ガラスの 垂直面 日射熱 取得率 []
ガラス 層数	Low E膜数	中空層 気体	日射区分	中空層 幅(厚さ) ミリ	ガラス 建築確認 記号	木製建具 又は 樹脂製建具	木と金属の複合 材料製建具 又は 樹脂と金属の複合 材料製建具	金属製建具 又は その他		木製建具又は 樹脂製建具			木と金属の複合材料製建具又は 樹脂と金属の複合材料製建具、 又は金属製建具			
										付属部材 なし	和障子	外付け ブラインド	付属部材 なし	和障子	外付け ブラインド	
三層複層ガラス	Low-E 2枚	断熱ガス	日射取得型	6	3WgG06	1.95	2.27	2.64	1.4	0.39	0.24	0.09	0.43	0.27	0.10	0.54
				7	3WgG07	1.89	2.19	2.56	1.3							
				8	3WgG08	1.82	2.11	2.48	1.2							
				9	3WgG09	1.76	2.03	2.40	1.1							
				10	3WgG10	1.69	1.95	2.32	1.0							
				11	3WgG11	1.66	1.91	2.28	0.95							
				12	3WgG12	1.62	1.87	2.24	0.90							
				13	3WgG13	1.60	1.84	2.21	0.86							
			14	3WgG14	1.57	1.80	2.17	0.82								
			15	3WgG15	1.55	1.78	2.15	0.79								
			16	3WgG16	1.53	1.76	2.12	0.76								
			日射遮蔽型	6	3WsG06	1.95	2.27	2.64	1.4	0.24	0.16	0.06	0.26	0.18	0.06	0.33
				7	3WsG07	1.89	2.19	2.56	1.3							
				8	3WsG08	1.82	2.11	2.48	1.2							
				9	3WsG09	1.76	2.03	2.40	1.1							
				10	3WsG10	1.69	1.95	2.32	1.0							
		11		3WsG11	1.66	1.91	2.28	0.95								
		12		3WsG12	1.62	1.87	2.24	0.90								
		13		3WsG13	1.60	1.84	2.21	0.86								
		14	3WsG14	1.57	1.80	2.17	0.82									
		15	3WsG15	1.55	1.78	2.15	0.79									
		16	3WsG16	1.53	1.76	2.12	0.76									
		乾燥空気	日射取得型	6	3WgA06	2.15	2.51	2.89	1.7	0.39	0.24	0.09	0.43	0.27	0.10	0.54
				7	3WgA07	2.02	2.35	2.72	1.5							
				8	3WgA08	1.95	2.27	2.64	1.4							
				9	3WgA09	1.89	2.19	2.56	1.3							
				10	3WgA10	1.82	2.11	2.48	1.2							
				11	3WgA11	1.82	2.11	2.48	1.2							
				12	3WgA12	1.76	2.03	2.40	1.1							
				13	3WgA13	1.69	1.95	2.32	1.0							
			14	3WgA14	1.68	1.94	2.31	0.99								
			15	3WgA15	1.66	1.91	2.28	0.95								
	16		3WgA16	1.64	1.88	2.25	0.92									
	日射遮蔽型		6	3WsA06	2.15	2.51	2.89	1.7	0.24	0.16	0.06	0.26	0.18	0.06	0.33	
			7	3WsA07	2.02	2.35	2.72	1.5								
			8	3WsA08	1.95	2.27	2.64	1.4								
			9	3WsA09	1.89	2.19	2.56	1.3								
			10	3WsA10	1.82	2.11	2.48	1.2								
		11	3WsA11	1.82	2.11	2.48	1.2									
		12	3WsA12	1.76	2.03	2.40	1.1									
		13	3WsA13	1.69	1.95	2.32	1.0									
	14	3WsA14	1.68	1.94	2.31	0.99										
	15	3WsA15	1.66	1.91	2.28	0.95										
	16	3WsA16	1.64	1.88	2.25	0.92										
	Low-E 1枚	断熱ガス	日射取得型	6	3LgG06	2.15	2.51	2.89	1.7	0.42	0.27	0.10	0.47	0.30	0.11	0.59
				7	3LgG07	2.09	2.43	2.81	1.6							
				8	3LgG08	2.02	2.35	2.72	1.5							
				9	3LgG09	1.95	2.27	2.64	1.4							
				10	3LgG10	1.89	2.19	2.56	1.3							
				11	3LgG11	1.89	2.19	2.56	1.3							
				12	3LgG12	1.82	2.11	2.48	1.2							
				13	3LgG13	1.82	2.11	2.48	1.2							
			14	3LgG14	1.76	2.03	2.40	1.1								
			15	3LgG15	1.76	2.03	2.40	1.1								
			16	3LgG16	1.76	2.03	2.40	1.1								
			日射遮蔽型	6	3LsG06	2.15	2.51	2.89	1.7	0.27	0.18	0.07	0.30	0.20	0.08	0.37
				7	3LsG07	2.09	2.43	2.81	1.6							
				8	3LsG08	2.02	2.35	2.72	1.5							
				9	3LsG09	1.95	2.27	2.64	1.4							
				10	3LsG10	1.89	2.19	2.56	1.3							
		11		3LsG11	1.89	2.19	2.56	1.3								
		12		3LsG12	1.82	2.11	2.48	1.2								
		13		3LsG13	1.82	2.11	2.48	1.2								
		14	3LsG14	1.76	2.03	2.40	1.1									
		15	3LsG15	1.76	2.03	2.40	1.1									
		16	3LsG16	1.76	2.03	2.40	1.1									
		乾燥空気	日射取得型	6	3LgA06	2.35	2.75	3.13	2.0	0.42	0.27	0.10	0.47	0.30	0.11	0.59
				7	3LgA07	2.22	2.59	2.97	1.8							
				8	3LgA08	2.15	2.51	2.89	1.7							
				9	3LgA09	2.09	2.43	2.81	1.6							
				10	3LgA10	2.02	2.35	2.72	1.5							
				11	3LgA11	2.02	2.35	2.72	1.5							
				12	3LgA12	1.95	2.27	2.64	1.4							
				13	3LgA13	1.89	2.19	2.56	1.3							
14			3LgA14	1.89	2.19	2.56	1.3									
15			3LgA15	1.89	2.19	2.56	1.3									
16	3LgA16		1.82	2.11	2.48	1.2										
日射遮蔽型	6		3LsA06	2.35	2.75	3.13	2.0	0.27	0.18	0.07	0.30	0.20	0.08	0.37		
	7		3LsA07	2.22	2.59	2.97	1.8									
	8		3LsA08	2.15	2.51	2.89	1.7									
	9		3LsA09	2.09	2.43	2.81	1.6									
	10		3LsA10	2.02	2.35	2.72	1.5									
	11	3LsA11	2.02	2.35	2.72	1.5										
	12	3LsA12	1.95	2.27	2.64	1.4										
	13	3LsA13	1.89	2.19	2.56	1.3										
14	3LsA14	1.89	2.19	2.56	1.3											
15	3LsA15	1.89	2.19	2.56	1.3											
16	3LsA16	1.82	2.11	2.48	1.2											

ガラスの仕様						窓の熱貫流率 [W/(m ² ・K)]			ガラス 中央部の 熱貫流率 [W/(m ² ・K)]	窓の日射熱取得率 [%]						ガラスの 垂直面 日射熱 取得率 [%]								
ガラス 層数	Low E膜数	中空層 気体	日射区分	中空層 幅 (厚さ) ミリ	ガラス 建築確認 記号	木製建具 又は 樹脂製建具	木と金属の複合 材料製建具 又は 樹脂と金属の複合 材料製建具	金属製建具 又は その他		木製建具又は 樹脂製建具			木と金属の複合材料製建具又は 樹脂と金属の複合材料製建具、 又は金属製建具											
										付属部材 なし	和障子	外付け ブラインド	付属部材 なし	和障子	外付け ブラインド									
三層複層ガラス	Low-E なし	乾燥空気		6	3FA06	2.55	2.99	3.37	2.3	0.52	0.27	0.13	0.58	0.30	0.14	0.72								
				7	3FA07	2.48	2.91	3.29	2.2															
				8	3FA08	2.41	2.83	3.21	2.1															
				9	3FA09	2.41	2.83	3.21	2.1															
				10	3FA10	2.35	2.75	3.13	2.0															
				11	3FA11	2.35	2.75	3.13	2.0															
				12	3FA12	2.28	2.67	3.05	1.9															
				13	3FA13	2.28	2.67	3.05	1.9															
				14	3FA14	2.22	2.59	2.97	1.8															
				15	3FA15	2.22	2.59	2.97	1.8															
二層複層ガラス	Low-E 1枚	断熱ガス	日射取得型	6	2LgG06	2.48	2.91	3.29	2.2	0.46	0.27	0.11	0.51	0.30	0.12	0.64								
				7	2LgG07	2.41	2.83	3.21	2.1															
				8	2LgG08	2.28	2.67	3.05	1.9															
				9	2LgG09	2.22	2.59	2.97	1.8															
				10	2LgG10	2.15	2.51	2.89	1.7															
				11	2LgG11	2.09	2.43	2.81	1.6															
				12	2LgG12	2.09	2.43	2.81	1.6															
				13	2LgG13	2.02	2.35	2.72	1.5															
				14	2LgG14	1.95	2.27	2.64	1.4															
				15	2LgG15	1.95	2.27	2.64	1.4															
				16	2LgG16	1.95	2.27	2.64	1.4															
				日射遮蔽型	6	2LsG06	2.48	2.91	3.29								2.2	0.29	0.19	0.08	0.32	0.21	0.09	0.40
					7	2LsG07	2.41	2.83	3.21								2.1							
					8	2LsG08	2.28	2.67	3.05								1.9							
					9	2LsG09	2.22	2.59	2.97								1.8							
					10	2LsG10	2.15	2.51	2.89								1.7							
			11		2LsG11	2.09	2.43	2.81	1.6															
			12		2LsG12	2.09	2.43	2.81	1.6															
			13		2LsG13	2.02	2.35	2.72	1.5															
			14		2LsG14	1.95	2.27	2.64	1.4															
			15		2LsG15	1.95	2.27	2.64	1.4															
			16		2LsG16	1.95	2.27	2.64	1.4															
			日射取得型		6	2LgA06	2.74	3.23	3.62	2.6	0.46	0.27	0.11	0.51	0.30	0.12	0.64							
					7	2LgA07	2.61	3.07	3.45	2.4														
					8	2LgA08	2.55	2.99	3.37	2.3														
					9	2LgA09	2.41	2.83	3.21	2.1														
					10	2LgA10	2.35	2.75	3.13	2.0														
				11	2LgA11	2.28	2.67	3.05	1.9															
				12	2LgA12	2.22	2.59	2.97	1.8															
				13	2LgA13	2.22	2.59	2.97	1.8															
				14	2LgA14	2.15	2.51	2.89	1.7															
				15	2LgA15	2.09	2.43	2.81	1.6															
				16	2LgA16	2.09	2.43	2.81	1.6															
				日射遮蔽型	6	2LsA06	2.74	3.23	3.62	2.6								0.29	0.19	0.08	0.32	0.21	0.09	0.40
					7	2LsA07	2.61	3.07	3.45	2.4														
					8	2LsA08	2.55	2.99	3.37	2.3														
					9	2LsA09	2.41	2.83	3.21	2.1														
					10	2LsA10	2.35	2.75	3.13	2.0														
			11		2LsA11	2.28	2.67	3.05	1.9															
			12		2LsA12	2.22	2.59	2.97	1.8															
			13		2LsA13	2.22	2.59	2.97	1.8															
			14		2LsA14	2.15	2.51	2.89	1.7															
			15		2LsA15	2.09	2.43	2.81	1.6															
			16		2LsA16	2.09	2.43	2.81	1.6															
	Low-E なし				6	2FA06	3.20	3.79	4.18	3.3	0.57	0.27	0.12	0.63	0.30	0.14	0.79							
					7	2FA07	3.14	3.71	4.10	3.2														
					8	2FA08	3.07	3.63	4.02	3.1														
					9	2FA09	3.07	3.63	4.02	3.1														
					10	2FA10	3.01	3.55	3.94	3.0														
				11	2FA11	2.94	3.47	3.86	2.9															
				12	2FA12	2.94	3.47	3.86	2.9															
				13	2FA13	2.88	3.39	3.78	2.8															
				14	2FA14	2.88	3.39	3.78	2.8															
				15	2FA15	2.88	3.39	3.78	2.8															
				16	2FA16	2.88	3.39	3.78	2.8															
単板ガラス					T	4.76	5.67	6.25	6.0	0.63								0.27	0.14	0.70	0.30	0.15	0.88	

本資料について
建築物省エネ法に基づく省エネルギー 基準の評価を行う際には、国立研究開発法人建築研究所のホ ム ペ ジ(<http://www.keken.go.jp/becc/index.html>)で公開されているWebプログラムに当該建築物の外皮や設備の仕様を入力して、エネルギー 消費性能を算出する必要がある。この際、窓ガラスの熱性能(熱貫流率、日射熱取得率)については、予め「ガラスの種類」毎に定められた規定値を選択するかJIS、ISOで規定された方法で算出した値を入力することが求められている。このリストは、予め「ガラスの種類」毎に定められた規定値を、以下の根拠に基づいて整理したものである。

根拠：国立研究開発法人建築研究所のHP <平成28年省エネルギー 基準に準拠したエネルギー 消費性能の評価に関する技術情報(住宅)>のエネルギー 消費性能の算定方法
窓の熱貫流率 : 第三章第三節 熱貫流率及び線熱貫流率 付録Bに示された、窓の仕様に応じた熱貫流率の値を求めるB.1の計算方法と、B.3の(参考)ガラス(グレ ジング)の熱貫流率を基に計算
窓の日射熱取得率：第三章第四節 日射熱取得率 付録C表2(a)(b)に示された、窓等の開口部(一重構造の建具)の垂直面日射熱取得率の一覧表を、ガラス仕様と枠種類に合わせ転記

ガラス建築確認記号は、国立研究開発法人建築研究所のホ ム ペ ジ <平成28年省エネルギー 基準に準拠したエネルギー 消費性能の評価に関する技術情報(非住宅建築)>のモデル建物法および標準入力法プログラムのマニュアルに記載されている規則に準じて表示。

日本サッシ協会

「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率表
(住宅用窓の簡易的評価による)

「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率表
(住宅用ドアの簡易的評価による)

「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率（建具の仕様とガラス性能から算出）

■ 大部分がガラスで構成されている窓等の開口部

建具の仕様	ガラスの仕様		中空層の仕様		開口部の熱貫流率 [W/(㎡K)]※2					
			ガスの封入※1	中空層の厚さ	付属部材 無し	シャッター・ 雨戸付	和障子付	風除室 あり		
樹脂製建具 又は 木製建具	層複層ガラス	Low-Eガラス 2 枚	されている	13mm以上	1.60	1.49	1.43	1.38		
				10mm以上13mm未満	1.70	1.58	1.51	1.46		
				7mm以上10mm未満	1.90	1.75	1.66	1.60		
				7mm未満	2.15	1.96	1.86	1.77		
			されていない	13mm以上※4	1.70	1.58	1.51	1.46		
				9mm以上13mm未満	1.90	1.75	1.66	1.60		
				7mm以上9mm未満	2.15	1.96	1.86	1.77		
				7mm未満	2.33	2.11	1.99	1.89		
		Low-Eガラス 1 枚	されている	10mm以上	1.90	1.75	1.66	1.60		
				10mm未満	2.15	1.96	1.86	1.77		
			されていない	13mm以上	1.90	1.75	1.66	1.60		
				9mm以上13mm未満	2.15	1.96	1.86	1.77		
				7mm以上9mm未満	2.33	2.11	1.99	1.89		
				7mm未満	2.91	2.59	2.41	2.26		
	般ガラス	されていない	12mm以上	2.33	2.11	1.99	1.89			
			12mm未満	2.91	2.59	2.41	2.26			
	複層ガラス	Low-Eガラス	されている	10mm以上	2.15	1.96	1.86	1.77		
				8mm以上10mm未満	2.33	2.11	1.99	1.89		
				8mm未満	2.91	2.59	2.41	2.26		
			されていない	14mm以上	2.15	1.96	1.86	1.77		
				11mm以上14mm未満	2.33	2.11	1.99	1.89		
				11mm未満	2.91	2.59	2.41	2.26		
		般ガラス	されていない	13mm以上	2.91	2.59	2.41	2.26		
				13mm未満	3.49	3.04	2.82	2.59		
		単板ガラス	－	－	－	6.51	5.23	4.76	3.95	
樹脂（又は木） と金属の複合 材料製建具		層複層ガラス	Low-Eガラス 2 枚	されている	12mm以上	1.90	1.75	1.66	1.60	
	8mm以上12mm未満				2.15	1.96	1.86	1.77		
	8mm未満				2.33	2.11	1.99	1.89		
	されていない			16mm以上	1.90	1.75	1.66	1.60		
				10mm以上16mm未満	2.15	1.96	1.86	1.77		
				8mm以上10mm未満	2.33	2.11	1.99	1.89		
				8mm未満	2.91	2.59	2.41	2.26		
				Low-Eガラス 1 枚	されている	12mm以上	2.15	1.96	1.86	1.77
						9mm以上12mm未満	2.33	2.11	1.99	1.89
	9mm未満		2.91			2.59	2.41	2.26		
	されていない		16mm以上		2.15	1.96	1.86	1.77		
			12mm以上16mm未満		2.33	2.11	1.99	1.89		
			12mm未満		2.91	2.59	2.41	2.26		
	般ガラス		されていない	7mm以上	2.91	2.59	2.41	2.26		
				7mm未満	3.49	3.04	2.82	2.59		
				複層ガラス	Low-Eガラス	されている	14mm以上	2.33	2.11	1.99
	14mm未満		2.91				2.59	2.41	2.26	
	されていない		9mm以上			2.91	2.59	2.41	2.26	
		9mm未満	3.49			3.04	2.82	2.59		
	般ガラス	されていない	11mm以上		3.49	3.04	2.82	2.59		
			11mm未満		4.07	3.49	3.21	2.90		
	単板ガラス	－	－		－	6.51	5.23	4.76	3.95	
	その他 ・金属製建具 ・金属製熱遮断 構造建具 等	複層ガラス	Low-Eガラス		されている	10mm以上	2.91	2.59	2.41	2.26
						10mm未満	3.49	3.04	2.82	2.59
				されていない	14mm以上	2.91	2.59	2.41	2.26	
7mm以上14mm未満					3.49	3.04	2.82	2.59		
7mm未満			4.07	3.49	3.21	2.90				
			般ガラス	されていない	8mm以上	4.07	3.49	3.21	2.90	
					8mm未満	4.65	3.92	3.60	3.18	
単板ガラス		－	－	－	6.51	5.23	4.76	3.95		

表中の用語の定義については、国立研究開発法人建築研究所が公表する「平成28 年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「2.エネルギー消費性能の算定方法 2.1 算定方法 1.概要と用語の定義」を参照（<http://www.kenken.go.jp/becc/house.html>）

※1「ガス」とは、アルゴンガス又は熱伝導率がこれと同等以下のものをいいます。

「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率（建具の仕様とガラス性能から算出）

■大部分がガラスで構成されていないドア等の開口部（2 ロック、掘込み錠）

（欄間付のドア、袖付のドア、欄間付の引戸、袖付きの引戸には適用できません）

枠の仕様	戸の仕様			ガラスの仕様	中空層の仕様		開口部の熱貫流率 [W/(mK)]※2	
					ガスの封入※1	中空層の厚さ	付属部材無し	風除室あり
金属製 熱遮断構造	金属製高断熱 フラッシュ構造	ポストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.60	1.38
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	7mm以上 7mm未満	1.90	1.60
					されていない	9mm以上 9mm未満	2.33	1.89
		ポストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.60	1.38
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	9mm以上 9mm未満	1.90	1.60
					されていない	12mm以上 12mm未満	2.33	1.89
	金属製断熱 フラッシュ構造	ポストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.60	1.38
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	10mm以上 10mm未満	2.33	1.89
					されていない	14mm以上 14mm未満	2.91	2.26
		ポストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.90	1.60
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	14mm以上 14mm未満	2.33	1.89
					されていない	中空層厚問わない	2.91	2.26
	金属製 フラッシュ構造	ポストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.90	1.60
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	中空層厚問わない	2.91	2.26
					されていない	中空層厚問わない	2.91	2.26
		ポストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	2.33	1.89
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	中空層厚問わない	2.91	2.26
					されていない	中空層厚問わない	2.91	2.26
	金属製 ハニカム フラッシュ構造	ポストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	2.91	2.26
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	中空層厚問わない	3.49	2.59
					されていない	中空層厚問わない	3.49	2.59
		ポストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	2.91	2.26
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	中空層厚問わない	3.49	2.59
					されていない	中空層厚問わない	3.49	2.59
複合材料製	金属製高断熱 フラッシュ構造	ポストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.60	1.38
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	8mm以上 8mm未満	1.90	1.60
					されていない	10mm以上 10mm未満	2.33	1.89
		ポストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.60	1.38
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	13mm以上 13mm未満	2.33	1.89
					されていない	15mm以上 15mm未満	2.91	2.26
	金属製断熱 フラッシュ構造	ポストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	1.90	1.60
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	11mm以上 11mm未満	2.33	1.89
					されていない	15mm以上 15mm未満	2.91	2.26
		ポストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	2.91	2.26
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	中空層厚問わない	2.91	2.26
					されていない	中空層厚問わない	2.91	2.26
	金属製 フラッシュ構造	ポストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	2.33	1.89
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	中空層厚問わない	2.91	2.26
					されていない	中空層厚問わない	2.91	2.26
		ポストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	2.91	2.26
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	中空層厚問わない	2.91	2.26
					されていない	中空層厚問わない	2.91	2.26
	金属製 ハニカム フラッシュ構造	ポストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	2.91	2.26
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	中空層厚問わない	3.49	2.59
					されていない	中空層厚問わない	3.49	2.59
		ポストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	2.91	2.26
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	中空層厚問わない	3.49	2.59
					されていない	中空層厚問わない	3.49	2.59
金属製 またはその他	金属製 フラッシュ構造	ポストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	2.33	1.89
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	中空層厚問わない	2.91	2.26
					されていない	中空層厚問わない	2.91	2.26
		ポストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	2.33	1.89
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	中空層厚問わない	2.91	2.26
					されていない	中空層厚問わない	2.91	2.26
	金属製 ハニカム フラッシュ構造	ポストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	2.91	2.26
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	中空層厚問わない	3.49	2.59
					されていない	中空層厚問わない	3.49	2.59
		ポストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	2.91	2.26
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	中空層厚問わない	3.49	2.59
					されていない	中空層厚問わない	3.49	2.59
	金属製 またはその他	ポストなし	ドア内ガラスなし	—	—	—	6.51	3.95
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	中空層厚問わない	6.51	3.95
					されていない	中空層厚問わない	6.51	3.95
		ポストあり	ドア内ガラスなし	—	—	—	6.51	3.95
			ドア内ガラスあり	Low-E複層ガラス	されている	中空層厚問わない	6.51	3.95
					されていない	中空層厚問わない	6.51	3.95

表中の用語の定義については、国立研究開発法人建築研究所が公表する「平成28 年省エネルギー 基準に準拠したエネルギー 消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「2.エネルギー 消費性能の算定方法 2.1 算定方法 1.概要と用語の定義」を参照（<http://www.kenken.go.jp/becc/house.html>）

※1「ガス」とは、アルゴンガス又は熱伝導率がこれと同等以下のものをいいます。

※2 国立研究開発法人建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー 基準に準拠したエネルギー 消費性能の評価に関する技術情報」の熱貫流率及び線熱貫流率（ドア等の大部分がガラスで構成されない開口部）の熱貫流率の表及び風除室に面する場合の計算式によります。